

基本理念

曾根校区社会福祉協議会

# 『つくろうふれあいの和と輪のまち 曾根』

ふれあいのまち曾根校区をさらに広めるために、今年度から始まる第二次

計画は、

基本理念と3つの基本目標を掲げました。実現に向かってみんなで取組みましょう。

## 基本目標1

高齢者・障害者・一人暮らしの高齢者が安全で安心して暮らせる人にやさしいまちづくり。



### （実施項目）

- ◎サロン活動の拡充
  - ・開催場所、日時、内容等の周知徹底
  - ・新規サロンの開設
  - ・サロン活動によるひきこもりの解消
- 生活上の困りごとの解消策の検討（お助け隊の編成）
- 老人クラブ等の行事には積極的に呼び掛ける
- 福祉協力員、民生委員、町内会による高齢者・一人暮らしの高齢者の実態把握と連携

## 基本目標2

地域の絆・結びつきの強化で災害に強いまちづくり。



### （実施項目）

- ◎まちづくり協議会・防犯防災部会との連携を密にし、災害時に備える
  - ・高齢者、障害者、一人暮らしの高齢者へのマンツーマン対応
  - ・町内単位の避難場所の設定、確認
  - ・防災訓練への参加の徹底
  - ・日頃から災害意識を高める
- あいさつ運動で地域の絆を深める

## 基本目標3

三世代間交流、地域間交流を図り、次世代につなぐまちづくり。



### （実施項目）

- ◎誰でも参加できる行事の企画・運営の開発（若い方を中心に）
  - ・各行事に若い世代にも参加を呼び掛ける
- ウエルクラブの活動強化
- まちづくり協議会曾根っ子クラブへの積極的関わり
  - ・実施中の三世代交流もちつき大会の拡充
- 自治会や町内活動を通して、次世代の育成を図る

## 曾根校区 小地域福祉活動第二次計画策定経過および現状と課題（福祉）

### （第二次計画策定経過）

曾根校区は2013年に小地域福祉活動第一次計画を立てて、5か年間地域福祉活動に取り組んできました。この間、多くの皆様方のご支援やご協力を頂きながら活動を行ないました。この5か年を振り返って見ると相応の成果を上げることが出来ましたが、現在活動中の計画や積み残した計画もあり、今回、新たに5年後を見据えた第二次計画を作成しました。計画策定にあたっては、各関係機関の支援や校区社会福祉協議会役員会、策定委員会（2回開催）、局員会議を開催し、第二次計画の必要性や校区内の問題点や課題等を洗い出し、これらをまとめて計画書としました。その結果、基本理念と3つの基本目標を掲げました。今後、地域の皆様と共に目標に向かって邁進いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

### （ 曾 根 校 区 の 現 状 ） （福祉の課題）

総人口	人	世帯数	
14歳以下	人	高齢化率	
15～64歳	人	一人暮らしの高齢者	
65～75歳	人	福祉協力員	人
75歳以上	人	民生児童委員	人
小学校	曾根小学校	曾根校区の構成地域	中曾根、上曾根、下貫、東貫、
中学校	曾根中学校		
市民センター	曾根市民センター		

### （曾根校区小地域福祉活動第二次計画策定委員名簿）

氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
松井 清記	曾根校区社会福祉協議会 会長	桜井 茂樹	まち協 体育スポーツ部会長	藤田 美江	曾根校区社会福祉協議会 副会長	矢上 忠雄	曾根小学校 校長
金島 久男	まち協 副会長	田中 清治	曾根校区社会福祉協議会 副会長	片山 悦男	曾根校区社会福祉協議会 局員	有田 忍	曾根中学校 PTA会長
小澤 信子	まち協 副会長	加来 正	まち協 生涯学習高齢者部会長	冨田 豊	曾根校区社会福祉協議会 局員	別府 統務	曾根小学校 PTA会長
長尾 徹	まち協 健康福祉部会長	鶴田 エミ子	まち協 婦人部会長	尾倉 ひで子	福祉協力員	足立 清子	曾根市民センター 館長
益田 峯憲	まち協 防犯防災部会長	北村 勝利	曾根校区社会福祉協議会 副会長	山田 静子	福祉協力員		

中村 英孝	まち協 総務広報 長	山口 幸子	曾根校区社会福祉 協議会 副会長	井上 勝美	曾根中学校 校長		
-------	---------------	-------	---------------------	-------	----------	--	--